

令和4年度 決算と 令和5年度 上半期

令和4年度の決算の状況および令和5年度の9月30日現在の予算額の執行状況について公表します。この財政事情は町民の皆さまに町財政の状況をお知らせし、その実態についてご理解をいただくためのものです。

有田川町の 財政事情

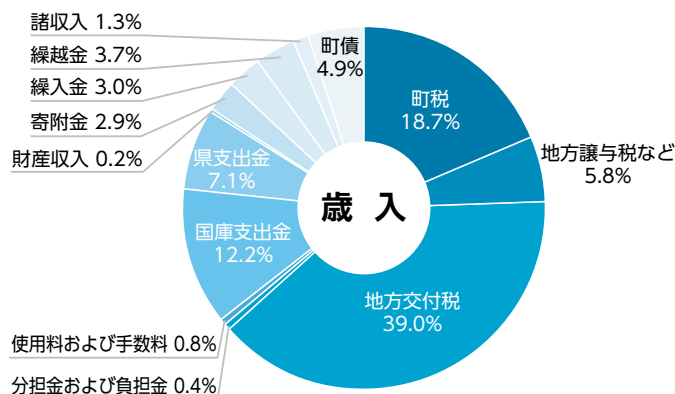
令和4年度 各会計の決算状況

会計区分	収入済額 ①	支出済額 ②	差引額 ③=①-②	翌年度へ繰り 越すべき財源 ④	実質収支額 ③-④	令和4年度末 地方債残高
一般会計	171億5,712万円	165億5,112万円	6億 600万円	2億2,901万円	3億7,699万円	148億6,412万円
国民健康保険事業特別会計	35億7,533万円	35億7,055万円	477万円	0円	477万円	0円
後期高齢者医療特別会計	7億8,973万円	7億7,881万円	1,092万円	0円	1,092万円	0円
介護保険事業特別会計	30億7,479万円	30億2,708万円	4,772万円	0円	4,772万円	0円
特別養護老人ホーム等事業特別会計	468万円	468万円	0円	0円	0円	0円
簡易水道事業特別会計	4億4,715万円	4億4,289万円	427万円	0円	427万円	17億3,309万円
公共下水道事業特別会計	12億 421万円	11億8,991万円	1,430万円	590万円	840万円	84億8,865万円
農業集落排水事業特別会計	2億5,123万円	2億4,301万円	822万円	0円	822万円	8億3,865万円
簡易排水事業特別会計	174万円	166万円	8万円	0円	8万円	233万円
浄化槽事業特別会計	611万円	361万円	250万円	0円	250万円	2,133万円
かなや明恵峡温泉特別会計	7,602万円	7,602万円	0円	0円	0円	0円
岩倉財産区管理会特別会計	4万円	4万円	0円	0円	0円	0円
粟生財産区管理会特別会計	40万円	4万円	35万円	0円	35万円	0円
城山山林財産区管理会特別会計	197万円	4万円	193万円	0円	193万円	0円
八幡山林財産区管理会特別会計	347万円	63万円	285万円	0円	285万円	0円
安諦山林財産区管理会特別会計	8万円	4万円	4万円	0円	4万円	0円
合計	265億9,408万円	258億9,014万円	7億 394万円	2億3,491万円	4億6,903万円	259億4,817万円

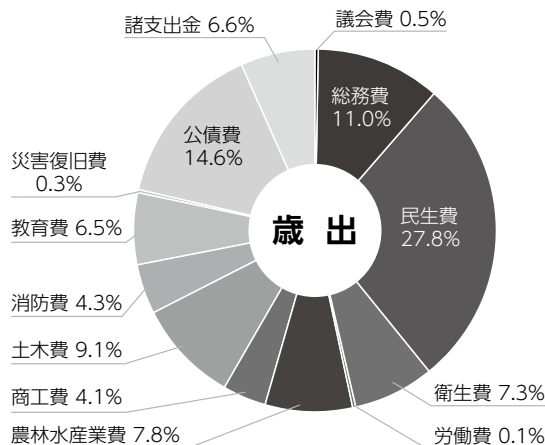
※前年度からの繰越事業分も含まれています。また、端数処理のため合計欄等の数値が一致しない場合があります（以降の表についても同じ）。

令和4年度 一般会計の決算状況

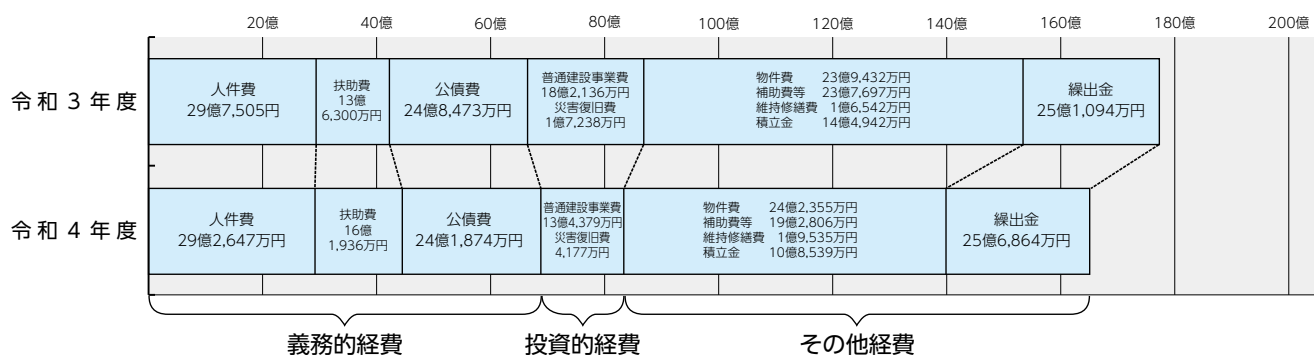
収入 171 億 5,712 万円



支出 165 億 5,112 万円



令和4年度 一般会計(歳出)性質別決算額



令和4年度決算の概要

歳入

前年度と比べて11億9,419万円の減額となりました。項目別で増額・減額となった主なものは次のとおりです。

- 増となったもの
- ・ 町税
- ・ 固定資産税等

- 減となったもの
- ・ 国庫支出金

新型コロナウイルス感染症関連事業にかかる国からの交付金

- ・ 町債および繰入金
- きびドーム大規模改修事業等の大型事業が終了したことによるもの

歳出

前年度と比べて11億6,247万円の減額となりました。項目別で増額・減額となった主なものは次のとおりです。

- 増となったもの
- ・ 商工費
- ・ 応援クーポン券給付事業

- ・ 消防費
- ・ 高規格救急自動車購入事業

- 減となったもの

- ・ 民生費
- ・ 新型コロナウイルス感染症関連費
- ・ 総務費
- ・ きびドーム大規模改修事業等の完成によるもの
- ・ 土木費
- ・ 町道大規模補修事業費および町道北筋西丹生図2号線道路新設工事費の減によるもの
- ・ 公債費
- ・ 地方債の新規発行抑制によるもの

目的税等の使途の明確化について

- ・ 入湯税については、環境衛生施設、鉱泉源の保護管理施設および消防施設その他消防活動に必要な施設の整備ならびに観光の振興に要する費用に充てる目的税であることから、観光振興基金へ積み立てています。
- ・ 地方消費税交付金の社会保障財源化分については、老人福祉費、障害者福祉費、児童福祉総務費および児童措置費へ充当しています。

一般会計決算額を 町民1人あたりに換算すると…

1人あたりの町税負担額は
12万5,784円 (前年比 2.8%増)

1人あたりの町債残高は
58万2,495円 (前年比 8.2%減)

※人口(令和5年3月末現在) 2万5,518人

用語解説

一般会計・特別会計／さまざまな事業に対応するため、収支が複雑化しないように財布を分けています。一般会計は行政運営の基本的な経費を網羅して計上した会計であり、特別会計以外の全ての経費は一般会計で処理しています。一方、特別会計とは、一般会計に対し、特定の歳入歳出を一般の歳入歳出と区別して処理するための会計です。

実質収支額／形式収支(各会計年度における歳入総額から歳出総額を単純に差し引いた額)から、翌年度への繰り越すべき財源を差し引いた額。

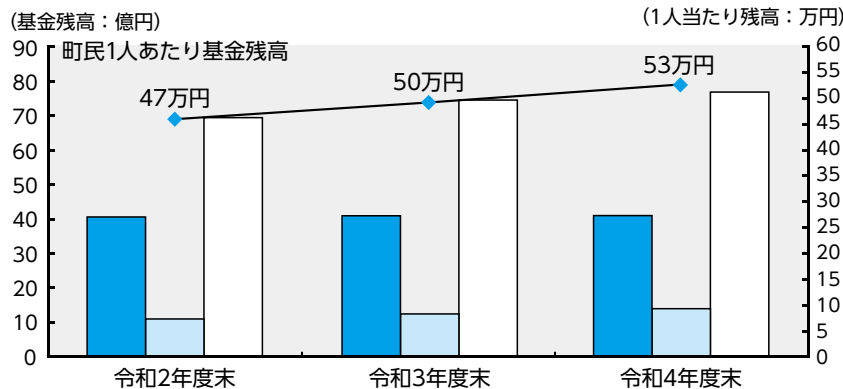
町債／特定の歳出に充てるため、町が年度を超えて元利を償還する借入金のこと。

令和4年度 公営企業会計の決算状況

※税込み

水道事業会計	収入済額	支出済額	差引	令和4年度末地方債残高
1.収益的収支	5億6,860万円	3億9,342万円	1億7,518万円	4億216万円
2.資本的収支	446万円	1億5,187万円	▲1億4,741万円	

基金残高の状況

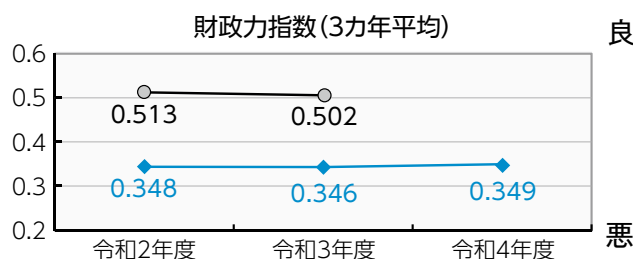
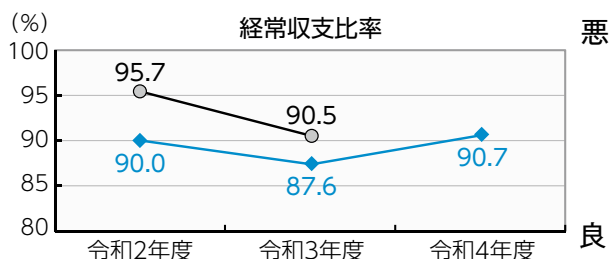


令和4年度において、主に積み立てたものとしては、ふるさと応援基金へ6億279万円、減債基金へ2億4,147万円、デジタル社会推進基金へ6,482万円です。

また、公共施設の整備や大規模改修等を実施するために公共施設整備基金から1億2,500万円を取り崩し、その他目的基金から取り崩したのものとしては、ふるさと応援基金の2億2,505万円が主なものです。

財政調整基金	41億3,589万円	41億4,148万円	41億4,601万円
減債基金	10億4,552万円	13億4,693万円	15億8,841万円
其他目的基金	70億6,996万円	75億2,875万円	78億7,148万円
合計	122億5,137万円	130億1,716万円	136億590万円

主な財政指標



○経常収支比率について

当比率は、人件費・扶助費・公債費などの経常的な経費に充当された一般財源の額が、地方税や普通交付税などの一般財源の合計に占める割合を表し、比率が低いほど財政構造に余裕があると言われています。

令和4年度の比率については、前年度に比べ3.1ポイント増加しました。

○財政力指数について

地方交付税にどれだけ頼らずに財政運営をしているかを表し、指数が1.0に近いほど財源に余裕があると言われています。

令和4年度の指数は0.349となっており、一般財源の多くを地方交付税等で賄っている状況です。

※各指標に係る、令和4年度の県内市町村平均値は公表されておりません。

— 有田川町 — 県内市町村平均

用語解説

水道事業／上水道事業は「企業会計」です。収益的収支とは、水道料金を主な財源とし、施設の維持管理や借入金利息返済などを行います。資本的収支とは、借入金などを主な財源とし、施設の建設や借入金元金返済などを行います。

基金／特定の目的のために、維持あるいは積み立てられる資金または財

産。財政調整基金は、地方公共団体における年度間の財源の不均等を調整するために設けられる基金のことで、減債基金は、地方債の償還（返済）を年度を越えて計画的に行うために設けられる基金のことです。

一般会計予算の執行状況

歳入科目	予算額	収入済額
1 町税	29 億 9,298 万円	21 億 8,566 万円
2 地方譲与税	2 億 2,676 万円	8,379 万円
3 利子割交付金	250 万円	60 万円
4 配当割交付金	1,400 万円	594 万円
5 株式譲渡所得割交付金	1,800 万円	0 円
6 法人事業税交付金	2,900 万円	1,820 万円
7 地方消費税交付金	5 億 3,000 万円	3 億 3,696 万円
8 ゴルフ場利用税交付金	2,400 万円	986 万円
9 環境性能割交付金	1,100 万円	674 万円
10 地方特例交付金	2,000 万円	3,040 万円
11 地方交付税	62 億 5,000 万円	44 億 2,098 万円
12 交通安全対策特別交付金	220 万円	90 万円
13 分担金及び負担金	2 億 3,635 万円	2,812 万円
14 使用料及び手数料	1 億 2,541 万円	4,453 万円
15 国庫支出金	22 億 3,082 万円	3 億 9,229 万円
16 県支出金	20 億 2,759 万円	2 億 46 万円
17 財産収入	2,852 万円	1,633 万円
18 寄附金	10 億 1,300 万円	1 億 5,167 万円
19 繰入金	22 億 6,663 万円	26 万円
20 繰越金	3 億 6,130 万円	6 億 600 万円
21 諸収入	2 億 918 万円	6,932 万円
22 町債	18 億 3,860 万円	0 円
合 計	204 億 5,784 万円	86 億 900 万円

歳出科目	予算額	支出済額
1 議会費	9,047 万円	4,644 万円
2 総務費	19 億 3,059 万円	6 億 6,291 万円
3 民生費	47 億 4,267 万円	14 億 5,053 万円
4 衛生費	16 億 2,422 万円	9 億 3,645 万円
5 労働費	1,174 万円	242 万円
6 農林水産業費	14 億 2,567 万円	4 億 6,476 万円
7 商工費	12 億 8,582 万円	4 億 1,286 万円
8 土木費	16 億 1,960 万円	7 億 7,406 万円
9 消防費	7 億 1,657 万円	3 億 1,195 万円
10 教育費	14 億 1,622 万円	6 億 4,215 万円
11 災害復旧費	21 億 9,268 万円	7,045 万円
12 公債費	22 億 2,211 万円	8 億 478 万円
13 諸支出金	11 億 3,842 万円	958 万円
14 予備費	4,105 万円	0 円
合 計	204 億 5,784 万円	65 億 8,934 万円

基金の状況

区 分	現 在 高
財政調整基金	41 億 5,490 万円
減債基金	15 億 8,840 万円
その他特定目的基金	78 億 7,218 万円
合 計	136 億 1,548 万円

特別会計予算の執行状況

会計区分	予算額	収入・支出済額
国民健康保険事業	36 億 1,730 万円	収入済額 15 億 6,504 万円
		支出済額 15 億 2,183 万円
後期高齢者医療	7 億 9,147 万円	収入済額 1 億 2,642 万円
		支出済額 2 億 8,317 万円
介護保険事業	33 億 1,919 万円	収入済額 12 億 7,260 万円
		支出済額 12 億 3,902 万円
特別養護老人ホーム等事業	1,100 万円	収入済額 6 万円
		支出済額 6 万円
かなや明恵峡温泉	9,156 万円	収入済額 3,216 万円
		支出済額 4,521 万円
岩倉財産区管理会	5 万円	収入済額 0 円
		支出済額 0 円
粟生財産区管理会	46 万円	収入済額 35 万円
		支出済額 0 円
城山山林財産区管理会	205 万円	収入済額 193 万円
		支出済額 0 円
八幡山林財産区管理会	288 万円	収入済額 432 万円
		支出済額 26 万円
安諦山林財産区管理会	15 万円	収入済額 4 万円
		支出済額 0 円
合 計	78 億 3,612 万円	収入済額 30 億 292 万円
		支出済額 30 億 8,956 万円

町債および一時借入金の状況

会計区分	現 在 高
一般会計	140 億 9,002 万円
水道事業会計	3 億 8,285 万円
簡易水道事業会計	16 億 9,381 万円
下水道事業会計	92 億 2,033 万円
合 計	253 億 8,701 万円
一時借入金 (一般会計および特別会計)	0 円

一般会計決算額を
町民1人あたりに換算すると…

1人当たりの町税負担額は **11 万 7,598 円**
1人あたりに使われるお金（繰り越し含む）
80 万 3,813 円
1人当たりの町債残高は **55 万 3,614 円**

※人口（令和5年9月末現在）2万5,451人

公営企業会計予算の執行状況

水道事業会計	歳 入		歳 出	
	予算額	収入済額	予算額	支出済額
1. 収 益 的 収 支	5 億 711 万円	2 億 2,054 万円	4 億 5,810 万円	8,325 万円
2. 資 本 的 収 支	7,720 万円	0 円	2 億 2,745 万円	1,981 万円
簡易水道事業会計	歳 入		歳 出	
	予算額	収入済額	予算額	支出済額
1. 収 益 的 収 支	5 億 541 万円	3 億 298 万円	5 億 511 万円	7,362 万円
2. 資 本 的 収 支	2 億 8,992 万円	1 億 1,500 万円	4 億 5,338 万円	1 億 1,673 万円
下水道事業会計	歳 入		歳 出	
	予算額	収入済額	予算額	支出済額
1. 収 益 的 収 支	10 億 7,298 万円	4 億 4,709 万円	9 億 6,283 万円	1 億 5,480 万円
2. 資 本 的 収 支	16 億 7,385 万円	3 億 6,722 万円	20 億 2,916 万円	5 億 6,808 万円